

8 幹線道路沿道ゾーン

[1] 幹線道路沿道ゾーンの基本要素と方針

1) ゾーンの特性と基本要素

「幹線道路沿道ゾーン」は幹線道路とその沿道から構成されます。幹線道路としては国道 14 号（千葉街道）をはじめ、首都高速・京葉道路、東京外かく環状道路（計画）などの都市間を結ぶ広域的な幹線道路、市内の各地域を結ぶ都市計画道路などがあります。

幹線道路は移動空間の役割だけでなく、人々の交流を育むネットワークとして重要な役割を担っており、また、車窓から眺める景観を通してまちの印象を人々に与えています。

地域ごとに個性が異なっていて、さまざまなまちの表情があること、眺望景観が楽しめること、人々の活動と交流の場でありシンボル性が高いことなどが、幹線道路沿道の特徴です。



基本要素

沿道地域の個性 外かん道路沿道など

外かん道路の沿道を見ていくと、北部には台地と低地が織り成す斜面林を背景としたまち並みが広がり、中央部の市川砂州上にはクロマツのある落ち着いたまち並み、さらに、商業業務施設が集積し中高層住宅の多い中心市街地があり、市南部へと続いていきます。

このように、幹線道路の沿道地域には、それぞれの成り立ちの中で育まれた固有の個性があり、多様なまち並みによって沿道景観が形づくられています。

連続する眺望

幹線道路は見通しの良い視点場でもあり、眺望景観を楽しめます。特に幹線道路を自動車で移動する場合、連続する眺望によって通行する人々の目を楽しませると同時に、人々に対してまちを印象づける大きな要素となります。

人々の活動・交流する場

幹線道路は都市間だけでなく、市内の拠点を結ぶネットワークとしても構成されているため、このネットワークを利用し多くの人々が行き交い、市内での活動や交流が盛んに行われています。こうした幹線道路には、わかりやすさのほか、安全で快適な楽しい空間が求められます。

シンボル性とインパクト

幹線道路は大規模な建造物で、まちに強いインパクトを与える要素にもなります。これまでは、殺風景な公共空間と考えられてきましたが、街路樹の整備や歩行者空間の充実等によりシンボル性の高い場とすることもできます。

2) 景観まちづくりの目標

人々のふれあいを育む、「楽しいみち」をつくりましょう

幹線道路が周辺地域に調和した人々のふれあいの場となるように、安全で快適なみちづくりとうるおいある沿道景観づくりを進めます。

3) 景観まちづくりの方針

取り組みの主体 : 協働 : 市民・事業者 : 行政

人々の交流を育むネットワーク（景観軸）として、明るく楽しい安全な道路空間をつくる

交差点を中心に木陰のポケットパークなどをつくり、人々の交流の場としていく
沿道の緑化の推進、アイストップの配慮、季節感の演出などにより、潤いある道づくりをすすめる
路上駐車や捨て看板などをできるだけ排除していく
歩道空間を中心に、人々が安全で快適に往来し、立ち止まり、交流のできるゆとりの空間としていく
(ユニバーサルデザイン、案内板、ポケットパーク、夜間景観の演出等)
歩道橋やストリートファニチャーなど、魅力的な沿道施設づくりをすすめる(案内や道路標識などの集約)
学校や公園・広場などの公共施設を分かりやすく結ぶため、案内板などを整備する

地域の個性を大切にし、愛着のもてる沿道景観を育てる

公共施設や中高層建築物はランドマーク性を意識したデザインとする
建物の敷地や駐車場の緑化に努め、連続性ある沿道の緑を育む
建物の形態や意匠、スカイラインなどに配慮し、統一感とリズム感ある街並みをつくる
地域の個性を生かした建物デザインを工夫する
・中心市街地などでは、建物のファサードに配慮し、洗練されたデザインとする
・地域のシンボル(クロマツ、寺社林等)を見せるように、建て方を工夫する
・郊外においては、斜面緑地や河川、田園など自然環境に配慮したデザインとする

沿道の緑が周辺にも広がるように、緑の景観を育てる

外かん道路など幅員の広い道路の沿道では、重点的に緑化をすすめ、緑の回廊をつくる
幹線道路とつながる地域の道路を積極的に緑化し、つながる緑をつくっていく(地域ごとにテーマを決めて樹種選定)
寺社、学校、農地と幹線道路の緑をつなげるとともに空き地を活用した緑の創出に努める
拠点施設への道筋をわかりやすくし、並木などにより、シンボル性を創出する

幹線道路沿いの景観まちづくりのイメージ

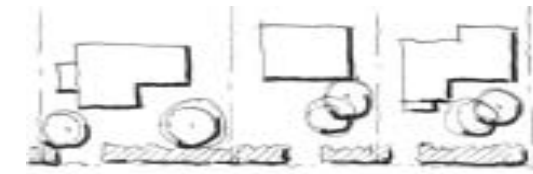
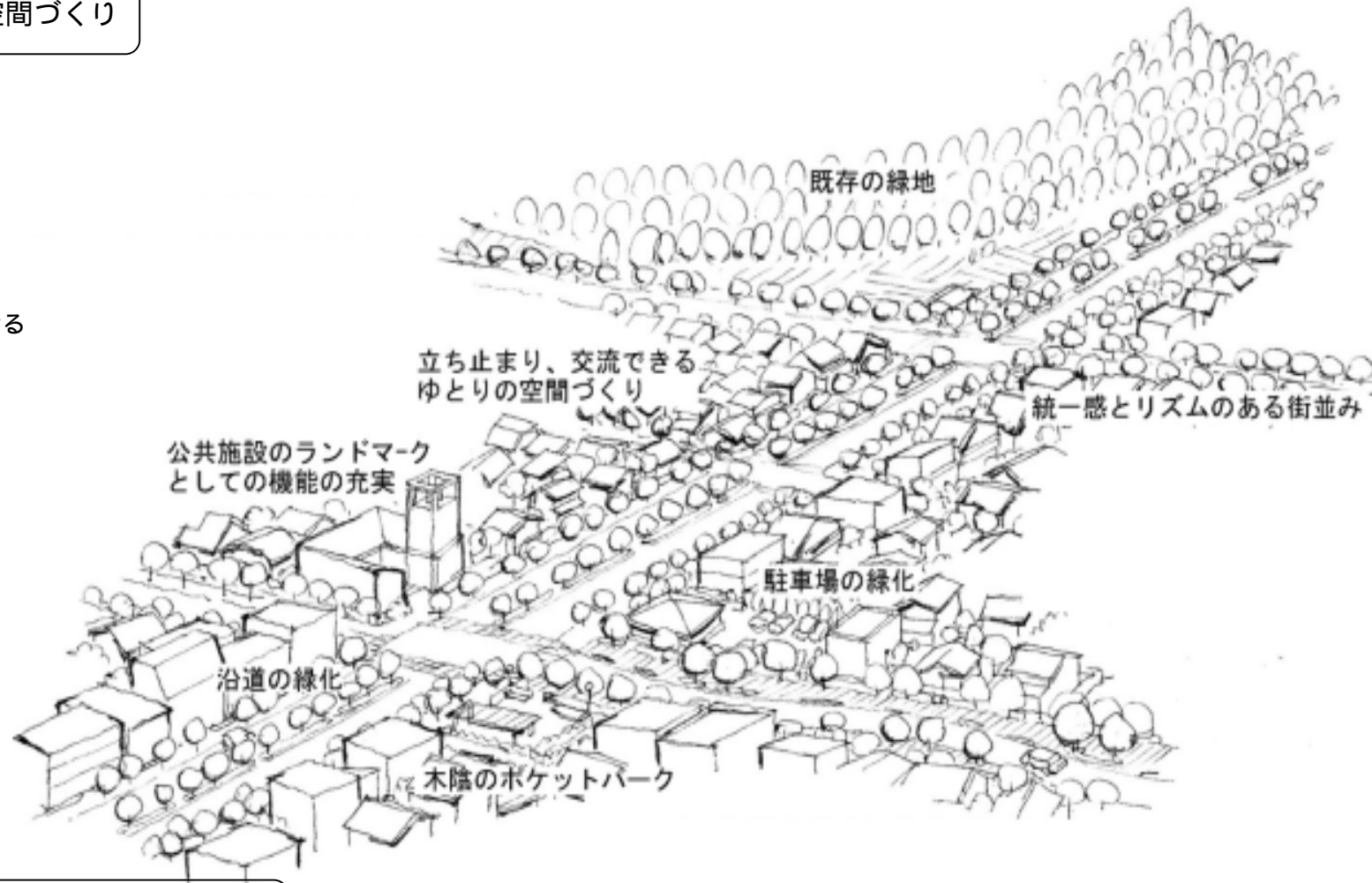
明るく楽しい、安全な道路空間づくり



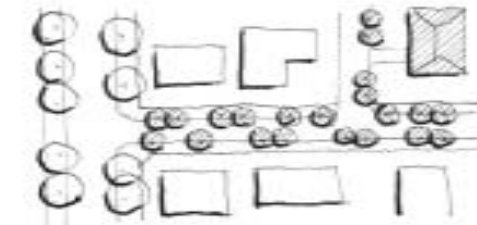
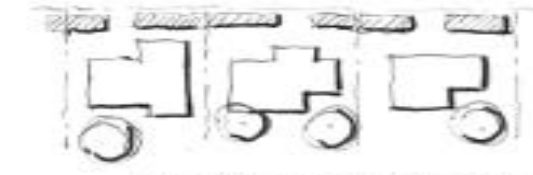
道路からみえる緑で通行者を楽しませる



まちかどや交差点をシンボル空間として
(案内板や広場など)



前面道路側への植栽を取り決める



道路からの緑をつなげる



街路樹で緑の景観軸づくり

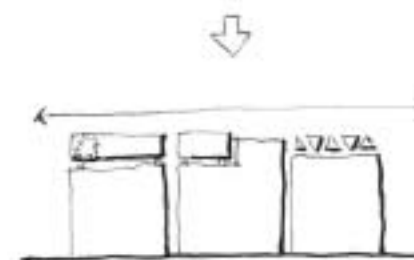
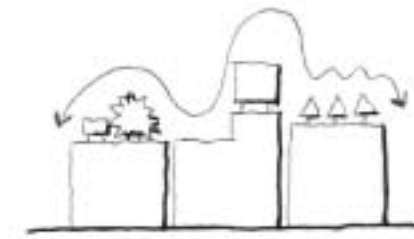
地域の個性を大切にしたい愛着もてる沿道景観づくり



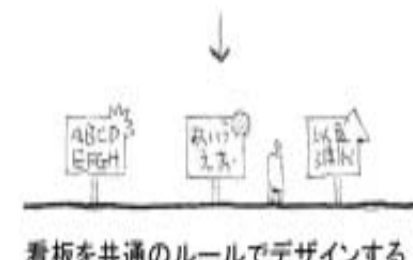
長い壁面は分節化して圧迫感を少なくする



多数の看板をひとつのシンプルな看板にまとめる



街並みを意識してスカイラインを整える



看板を共通のルールでデザインする



会社名、棟番号などは建築物と一体にデザインする



例えば屋根の色と傾斜をとりきめる